

第101回 番組審議委員会 議事録

○ 日 時：2023年12月20日（水）13時00分～14時10分

○ 場 所：四ヶ町商店街組合ビル 4F 会議室

□ 課題番組：毎週木曜日 21時 「男と女の研究所」

□ 出演者：メインパーソナリティ＝諸岡君、アシスタント＝佐世保キャンディーズ、
ゲスト：県立大学生、佐々木冷菓（提供スポンサーの1社）

審議記録

●山口委員：個人的に一番数多く聴いた番組で、諸岡さんのプロデュース力の高さを感じた。チームワークも良く、楽しさが伝わる。昭和のラジオ像が感じられ、若者の話題も入れながら全国からのメールでスタジオとリスナーの一体感を伝える番組。つまり全国からのメールはインターネットラジオで聴いているという事で若者を取り込んだ教養（クイズ）バラエティ番組であった。

●金子委員：仲の良い感じは伝わるが仲間内の忘年会の感じ。ゲストのトラックデザインコンテストの話題性が弱く、大学生を呼んだ意味が希薄。クイズもクリスマスに特化していて地域性を感じなかった。

●深堀委員：軽快な会話で、キャンディーズがステージ公演していた頃を思い出された。ただ、もう少し年寄りが馴染みやすい内容にして欲しい。特にクイズは脳活に良いのもっと多様なクイズで年寄りに考えるチャンスが欲しい

●渕上委員：年末クイズバトルの番組だがこの種の問題がググる、と直ぐ分かる問題で、大学生やゲストに気遣う問題作り、佐世保らしい問題を出して一緒に考えさせて欲しい。途中、リスナーのコメントをパスしていたが、リスナーが参加しているのに、少しごう慢に感じる。

●重信委員：最初聴いてネガティブな印象で聴くのに挫折。風俗店のキャバクラで、したり顔の客とホステスが話している感じ。リーダーの声がひずんでいる。テーマが定まっておらずはしゃいで悪いとは言わないが、内容はクイズだけの中身のない娯楽番組。

●草津委員長：今回は佐々木冷菓さん、長崎県立大生2名も加わり、大変、賑やかな番組であった。クリスマスにちなんだクイズは、直ぐに分かりそうで分からない所が非常に面白かった。

「もろたつさん」の突っ込みも良かった。これからも引き続き楽しい番組として期待しております。

□その他の番組についての意見：先日、英語の番組で米軍の司令官夫人がゲスト出演されていた時に、スタジオ下のアーケードに座って、タブレットで番組を聴いていた司令官が、この番組を全米に中継していますと言っていました。

□局側から：次年度から、テーマが明確な番組、地域に拘った番組などを強化したい。地域らしさでは、例えば、地域拘りという意味では、地元小中学校の校歌や歴史番組とか、テーマの絞り込みという意味では、昭和のヒット曲番組などなど、創意工夫したい。